

平成30年の新年交歓会を開催

和歌山木材協同組合は平成30年の新年交歓会を平成30年1月16日に開催しました。

新年交歓会には来賓として和歌山県知事仁坂吉伸様、和歌や市副市長荒竹宏之様、衆議院議員門博文様、また和歌山県や和歌山市役所の幹部の方々、の商工中金和歌山支店、商工会議所等から多数の方々をお招きし、会員を含め39名のご参加を得て開催しました。

会では、まず宮本理事長より挨拶があり、自身が記した年頭所感の中で、「目に見えるミスよりも名見えないミスを指摘できるよう心がける」、「一日を四つに分割して効果的に時間を使う」、ということに至った心境を、自らのこの仕事についての辛苦等の経験をもとに話されました。また、木材協同組合、組合員個々の在り方として、経営基盤の拡充、活力の強化、事業継承、人材育成、木を通じた地域貢献などの希望を述べられた。

来賓祝辞では、仁坂和歌山県知事より、住宅着工や人口減少の現状の中で県としての取り組みや業界としての生き方、ビジネスモデルをどう創るか、また、第二創業を目指すのであればおおいに県の支援制度を活用していただきたいなどの話がありました。続いて荒竹和歌山市副市長、門衆議院議員よりも祝辞をいただきました。

乾杯は山本副理事長の発声で、和歌山の銘酒「南方熊楠」で酒杯をあげ、懇親会を始めました。懇親会の席上では、伊太祁曾神社奥宮司より、今年の粥占いの結果や卯杖祭の由緒と卯杖そのものの披露がなされました。

2時間の交歓会の終わりには、原県農林水産部長より丁寧なお礼の言葉があり、白樫副理事長が中締め挨拶を行って今年の会は閉じられました。



宮本理事長の挨拶



仁坂和歌山県知事の祝辞



伊太祁曾神社奥宮司



白樫副理事長による中締めの挨拶